

千  
草  
群  
像

## 軋む歯車 遠藤節子 (工房阿列布管理者)

削減、廃止、凍結の文字が踊る政府の仕方作業。現状維持派にとって不満続出は当然であろうが、事業仕分は「公裁判」のように国民には見えただけではないだろうか。

それにしても、何と多くの事業に補助金が出ていたのか、ボランティアで出来そうなことまで補助金要求をする、正直驚いた。日本はそういう体質になっていたことをまざまざと見た感じである。

落下してゆく景気、税収入の落ち込みに何を切り捨て、何を残すのか、政治判断はどの党が政権を取っても難しいだろう。

今、失業率5.1%という。失業率にカウントされない人は、求職意欲喪失者、それらも含めると、10%を超えるかも知れないといわれる中、日本の雇用システムはすでに崩壊寸前で、雇いたくとも雇えないとい企業は今後も増えてゆくだろう。そのしわ寄せが若年層にお

よび、若者の貧困層がふえているという。テレビでは華やかな若者が時代を先取りしたファッションで、優雅に暮らしているかのよう映っているが、心の憂さを麻薬、覚せい剤などへの依存も見逃せない。また、命を無駄にする刹那的な生き方も目立っている。

既に日本を支えた労働者、老舗企業、俄企業も夫々、金属疲労が顕著になった。軋みだした歯車に民主党の政治の力は潤滑油となるのか。

何兆という数字目標の中で事業仕訳がぶつ切りのように行われているが、行政刷新はどのような結果をだすのか、きつとたんす預金の埋蔵金に眼は動いているかもしれない。

国のやることが分からないとき、国民は不安が募る。外国では騒乱になるやもしれないのに、日本のこの状態を平和、穏やかと呼んでいいものかしら？

# 刷新



「今月の言葉」 「必殺仕置人」ならぬ「必殺?事業仕置人」は三兆円削減を目指し、事業査定を切った。良くも悪くも政権交代ならぬは現実だ。三兆円の財源捻出も半分程度の獲得に終わった。で、子ども手当、高速道路無料化など公約はどうか。一方、赤裸々にされた前政権の曖昧な予算獲得事業、補助金に群がる日本の官僚体質が浮き彫りにされた。見えにくい三兆円のビジョンだが新政権の船出は順風満帆ではない。

「文/表紙 遠藤節子」

【絶対の基本理念】 最終目標であるホスピス建設に向け、新たな歩みを踏み出した私たちの絶対の基本理念として明文化し、支援の拠りどころと致します。

無私(私が、私が心のないこと)  
愛(大切に作る心、思いやる心)  
内省(深く自分をかえりみること)

11

月号

2009年11月15日発行  
VOL.11 NO.11  
(通巻109)

保護者研修会を開催

# TSK おりいぶ人



社会福祉法人 <sup>あいとく</sup> 愛篤福祉会・<sup>おりいぶ</sup> 工房阿列布  
〒973-8407 いわき市内郷宮町峰根 65-187  
TEL.0246-36-3944 FAX.0246-36-3922  
e-mail : olive-f@amber.plala.or.jp

TSK  
おりいぶ人  
1部 ¥100  
(会員は会費を含む)

毎月15日発行  
編集者 〒973-8407 福島県いわき市内郷宮町峰根65-187  
社会福祉法人愛篤福祉会 工房阿列布  
発行所 〒981-0907  
宮城県仙台市青葉区高松1-4-10  
東北障害者団体定期刊行物協会

おりいぶ1号館 〒970-1151 いわき市好間町下好間字鬼越24-10 TEL.0246-36-3976・FAX.0246-36-3986  
茶房おりいぶ 〒970-8026 いわき市平字中町7-2 TEL・FAX.0246-25-3977

おりいぶ後援会は、工房 阿列布を市民の立場から物心両面で支援するボランティア団体です。

## 保護者研修会



十一月十四日に総合保健福祉センターで、「第一回保護者研修会」が開催されました。保護者会で行ったアンケートを基に「親亡きあとの施設」についての意見交換が行われ、「我が子の将来の生活はこのようにあってほしい」や「事業所に対しこのような支援をしてほしい」など忌憚のない意見が出されました。また、法人役員もオブザーバーとして出席しました。役員からは保護者さんの生の声を聞け、大変有意義な研修会で、今後の事業計画に生かしていければとの感想がありました。

## 上半期利用者発表会

十一月十四日に報徳苑において、今年度上半期の利用者発表会が行われました。多くの保護者、役員の皆さまに出席



をして頂き、利用者の方々に耳を傾けていました。今回のテーマは、「自分の将来」働いてお金を稼ぎたい。みんなと一緒に生活したいなど。自分の意見を緊張しながらも壇上で発表している姿がとても印象的でした。

## 教会バザー出店報告

毎年恒例の平バプテスト教会のバザーに出店させていただきました。

この出店は、職員クラブのボランティア事業として毎年参加してきて益金については「親亡きあとの施設」建設のための積立金として、法人に寄附されました。物品をご提供して頂きました山岸和子様はじめおりいぶ後援会東京支部の皆さまありがとうございました。



## 芋煮会開催



毎年真夏の炎天下のもと行っていた納涼祭に変えて、今年から秋に芋煮会を開催することになりました。



今年、福島県の養豚協会様より豚肉約二十kgのご提供もあり、利用者の皆さんや参加者の皆さんも十分に食べることを考えたのではないかと思います。

餅つきやくじ引き大会などのイベントも開催して、秋晴れのひと時を楽しく過ごすごすことが出来ました。



## クリスマス会のご案内

毎年恒例のクリスマス会を開催いたします。皆さま是非、ご参加ください。

日時：平成21年12月23日(水)  
正午より  
場所：工房阿列布 食堂  
参加費：1,000円  
お問い合わせ 36-3944(坂本)

## 合歓の瞬 コン서트のご案内

ヴァイオリンと津軽三味線の競演

「合歓の瞬」コンサートが開催されます。是非お出かけください。

日時：平成21年12月12日(土)  
午後5時30分開演  
場所：いわき芸術文化交流会  
いわきアリオス(中劇場)  
入場料：3,500円(全席自由)

寄附者名簿 (物品寄附含む) 平成21年11月

田口京子様、遠藤睦子様、渡辺麻美様、高瀬勝皓様、大和田記子様、菅野モト子様、栗原淳子様、太田幸夫様、いわき養護学校様、吉村真澄様、圓谷裕一様、石井好子様、福島県養豚協会様